

肺炎球菌 予防へワクチン

福岡・糸島市

接種率の向上めざし再通知



再通知について市の担当者から話を聞く笹栗議員

福岡県糸島市は今年1月、肺炎球菌ワクチンを接種していない65歳の高齢者に対し、接種を促す再通知のはがきを郵送した。公明

党の笹栗純夫市議はこのほど、市健康づくり課の担当者から話を聞いた。

同市は現在、65歳から5歳ごとの高齢者を対象に、

自己負担額3000円で同ワクチンの接種が受けられる助成事業を行っている。対象者が助成を受けるには3月31日までに同ワクチンを接種する必要があるが、昨年11月時点で65歳の接種率が低かった。

これを受け、笹栗市議は昨年12月の定例議会で、未接種の65歳を対象に、同ワクチン接種の再通知を徹底するよう主張。今年1月末に対象者1165人に再通知のはがきが郵送された。

市健康づくり課の担当者は、同ワクチンに肺炎の発症予防や重症化を防ぐ効果があると述べ、「市の助成を使えるのは一生で一度だけ。健康のために利用してほしい」と話していた。